

道徳通信

No.2

令和7年 12月22日

安田中学校

2学期が終了します。今学期は体育大会、学習発表会、音楽発表会など大きな行事がありました。また、総合的な学習では各学年が校外での体験活動、各部活動での大会や発表会への取組を通して心身共に成長していた皆さんでした。校内外の生活のなかで「自分自身」、「人との関わり」、「集団や社会」、「生命や自然、崇高なもの」について向き合い、自分なりに感じたり考えたりしていたのではないのでしょうか。

冬休みは、生活リズムに気をつけて過ごしてください。3学期は学年を締めくくる学期となります。次年度の「自分自身」を想像しながら毎日の学校生活を送っていきましょう。

2学期を振り返って

【各学年の道徳授業（教材名）】

*今年度から新しい教科書となり、内容もこれまでと若干変わっています。

1年	2年	3年
・言葉の向こうに ・ライオンが逃げた ・二人の通学路 ・アップルロード作戦 ・三六五×十四回分のありがとう ・パラリンピックを駆け抜けた「きずな」 ・一道下美里 ・島耕作 ある朝の出来事 ・銀色のシャープペンシル ・時速二八五キロ、千三百人を乗せて。 ・町内会デビュー ・初めての実験―山中伸弥 ・木箱の中の鉛筆たち ・ふたりの子どもたちへ ・日本探しの旅 ・語りかける目	・イチロー選手のグローブ ・虎 ・明かりの下燭台 ・「がんばる」は僕は宿題 ・北の大地から、野生の猛禽を守る ・嵐のあとに ・国一王貞治 ・地球の時間、ヒトの時間 ・その声は ・天使の舞い降りた朝 ・あふれる愛―マザー・テレサ ・仏の銀蔵 ・足袋の季節 ・ゴリラのまねをした彼女 ・真珠の水 ― 中村哲 ・ネパールのビール	・ベビーカー論争 ・目の見えない白鳥さんとアートを見にいく ・分身ロボットカフェへようこそ ・月明かりで見送った夜汽車 ・ドナー ・リクエスト ・二通の手紙 ・風に立つライオン ・奥州平泉 中尊寺金色堂 ・二人の進路選択 ・小浜のさば缶、宇宙へ行く ・襟裳のこと ・ゼロ・ウェイストの町 ・ある元旦のこと ・誰かのために

全学年共通教材「高知のことについて知ろう」②

「寺田寅彦」 ～ 冊子『高知の道徳』より ～

『高知の道徳』では、高知の偉人がたくさん紹介されています。少しでも高知に関することを知り、お家の人と会話する機会になればと思い、今学期も全学年で取り組みました。生徒みなさんの感想とご家族の方々からの「一言感想」を掲載します。

【生徒の感想】＊一部抜粋

・天災についてこんなに昔から研究している人が高知にいるとは知らなかった。また、夏目漱石は教科書に載っているすごい人というイメージしかなかったが、同じ高知出身の人と親交が深かったことを知って驚いた。田丸卓郎と出会い、自分の歩む道を変えたので、自分も出会いを大切にして、自分自身も良い影響を与えられる人物になりたい。

・「失敗なき、成功はない」という言葉に共感できるし、失敗するためにも「挑戦」がとても大切だと思った。

・名前だけしか知らなかったけれど、二人の師が寺田寅彦に大きな影響を与えたことに興味を持った。

・寺田寅彦という人物は初めて聞いたけれど「天災は忘れたころにやってくる」という有名な言葉を残した偉人であることが分かった。

・寅彦のように自分の中に持っている大切なものをよく見つめ、そのうえで他者に学ぶ素直な心や感性を持ち、自分の考えをしっかりと持ちたいと思った。

・寺田寅彦さんについて何も知らなかったけど、被害調査に尽力したり、日本を代表する物理学者なのだと知れた。高知県にこのような人がいて嬉しくなった。

・文学者としての寅彦の文章がおもしろく分かりやすいということなので、読んでみたいと思った。

・寅彦は夏目漱石や田丸卓郎などの人に出会わなければ偉人にはなっていなかったかもしれない。でも、会っただけで偉人になるということはないので、寅彦自身も偉大な人だと思った。高知県には龍馬や中浜万次郎以外にもたくさんの偉人がいることを誇りに思う。

・小宮さんは寅彦の文章を「独自の世界を形づくっている」と言っている。それは文学と数学の両方の学者を師としていたからだと思う。どちらかしか集中して学べないのではと思っていた自分にとっては衝撃的だった。それに、数学は好きではなかったのに、その道に進んだのは楽しいことに気づいたからだと思う。苦手なことでも、楽しいところを見つければ、楽しく取り組めるのだと思った。

・寺田さんは、興味を持ったものに対して挑戦できる行動力がある人だと思った。自分は興味を持ったりやりたいと思ったりしても行動できないことがあるので、寺田さんのように色々なことにトライしていきたいと思った。

・「問題は別に難しいわけではないが、中学の時のような、ただ公式へ当てはめればすぐできる種類のものではなかった。」という言葉がすごく刺さった。高校では「吟味」が必要なことを覚えておきたい。

・「天災は忘れた頃来る」という言葉はテレビのCMで聞いたことがあったけど、寺田寅彦を知らなかったから気にしていなかった。寺田寅彦のように努力できる人、人を助けられる人になりたい。

・名前を聞いたことがなかったけど、科学者と文学者の二足の草鞋を履いた優れた功績を残した偉大な人だと分かった。

・寺田寅彦は初めて知ったけれど、夏目漱石などのあこがれの人と会って世界へ進出できていてとてもすごいと思った。

・寺田寅彦のように一つ一つの出会いを大切にしていきたい。

・夏目漱石と出会い、大きな進歩をした。その進歩は止まることなく、日本を代表する物理学者となったことを知った。

・高知出身のすごい人をまた知ることができてよかった。

・名前は知っているが、何をされたかはあまり分からなかった。読んでみて、寅彦は二人の師に出会ってやりたいことを見つけていた。自分も人との出会いを大切にしていきたい。

・どんな人に出会うかが大切だけど、自分の心に素直なことがとても大切だと思った。

・人生の中で人との出会いが大切になるということに気づけた。自分もこれからの人生のために「一期一会」を大切にし、人との関わり方について考えていこうと思った。

・寺田寅彦の活躍は、二人の師をはじめとする様々な人との出会いでできていることが分かった。ただ、どんな名師から学んでも本人が素直に学ぶ姿勢と熱心に学ぶ好奇心がないと身につかないと思うので、寺田の人生が朝ドラになるところを見てみたいと思った。

・自分も、自分もっている大切なものをよく見つめ、他者に学ぶ素直な心や感性を持ち、自分の考えを広げて深めていきたい。

・常に探求心を持ち、やりたいことを反対されても自分の思いを貫く強さを見習いたいと思った。

・色々な人に会って、色々なことが変わっていくのがすごいと思った。

・「日々は出会いの連続です」が地味に「そうだな」と感じて、寺田寅彦だけでなく田丸卓郎についても知ることができた。

・高知で活躍した人を新しく知れたのでよかった。

・現在の熊本大学出身の人だと知った。

【家族からの一言感想】

・二つの能力を有し、うらやましいとともに尊敬する。

・名前と名言は知っていたが、何を学んだのか詳しくは知らなかった。人生を変える人との良い出会いは大切にしないといけないなと思った。

・具体的なことは知らなかったけど、今回知って、〇〇にも参考にしてほしいと思った。

・「失敗なき、成功はない」 誰も失敗を恐れ、踏み出す勇気がいるけれど、いくつになっても一歩踏み出す勇気を持ち続ける人になってほしいし、自分もそうでありたいなと思いました。朝ドラしてほしいですね。

・知らなかったから朝ドラを見て学びたい。

・いろんな人との出会いがあると分かり、寺田寅彦の素晴らしさなどについて知ることができた。

・有名な言葉は知っていたけど、寺田寅彦が言ったということは知らなかった。朝ドラが楽しみになりました。

・寺田寅彦という人のことは聞いたこともありませんでしたが「天災は忘れた頃にやってくる」という言葉があるので、この方の残した言葉だと知っておどろきました。

・寺田寅彦が残した言葉は知っていたけど、その人の名前は初めて知りました。その人が残した言葉をこれからも受け継いでいきたいです。

・名前だけ聞いたことがある。科学と文学の両分野で才能を発揮したすごい人だと思います。

・すばらしい学力を持ち、発展に貢献した方だと思いますが、朝ドラにするにはパンチ力が弱いと思います。

・名前しか知りませんでした。二人の偉大な師との出会いにより、自身の進んでいた道を変え、生き方まで変わっていく様子はとてもすごいことだと感じました。人生の中ではいくつもの出会いがあります。一瞬で終わる出会い、生涯にわたる出会い、その期間は様々であっても、どの出会いにもその人にとってはどれも必要で意味のある出会いだと思います。出会った意味をよく考えて、その方との関わり方を深めていきたいと思います。とても貴重な話が知れて良かったです。

・「天災は忘れたところにやってくる」という言葉は聞いたことはあったが、誰が言ったかは知らなかった。

・名前を聞いたことがあるような気がする程度で、どんな方か知りませんでした。

・お昼の番組でちらっと聞いたことはあったが、夢に向かってやりたいことをしっかり見つけて素晴らしいと思った。

・寺田寅彦さんに関して知らなかったが、これを読んで少し知れた。

・人との出会い、改めて大切だと思いました。寅彦にとって二人の師との出会いは、寅彦の心を大きく動かし、あらゆる物事に興味を持つこととなり、まず学ぶことのおもしろさに影響を与えたことが、後の寅彦を作りだしたのだと思いました。どんな相手に対しても愛情と寛容さをもって接することは頭や言葉でわかっているてもなかなか難しいことだと思います。そういった人達だったからこそ人の心を動かす魅力があったのだと思いました。

・お名前は耳にしたことがありましたが、どのようなことをされた方か今回知ることができ、ありがたく思います。自分の尊敬する人を信じ、又、それを大切にして行動していくこと、◇◇も志してほしいです !!

・物理学者でありながら文学者でもあった。今で言う二刀流の才能を兼ね備えた人物。研究のためにヨーロッパに留学した経験もある。

・天災は忘れた頃にやってくる。TVを通じて何度も耳にし、頭の片隅にある言葉である。日々の備えが大事であると改めて思う。

・知らなかったが、天災は忘れた頃にやってくるという言葉は知っていた。

・名前と名言は知っているが詳しくは知らないなので、興味がある。朝ドラでやることになればもっと知ることができる。

・「天災は忘れたところにやってくる」は大きな災害が起こった時に、ニュース等で取り上げられます。大切な事は、日常生活の中で、いかにこのことを生かしていくのではないのでしょうか。

・日々の出会いの中には自分の人生を左右する存在となり得る出会いもあると思う。人との出会いに感謝しつつ、人の関心や興味を持てるようにしたい。自分の師となる人と出会えるかどうかその人に自分の気持ちが向いていないと、気づかないこともあるかもしれないと思った。

・「天災は忘れたところにやってくる」有名な言葉でありTVCMでも聞いたことがあります。寺田寅彦本人が書いた随筆などにこの言葉は直接書かれていないと知った。災害の記憶が薄れると対策が疎かになりがちであるという戒めの言葉であるということが分かった。

・言葉と記念館があるのは知っていた。

・寅彦について詳しく知れた。

・寺田寅彦は色々な人に影響を与えてすごいなと思った。

・「天災は忘れたところにやってくる」という言葉だけは知っていました。

・この方の事は存じていなかったですが、高知には色んな方が多くいるのだと感心しました。寺田さんは知らなかったものの「天災は忘れたところにやってくる」はよく聞く言葉です。

・「天災は忘れたところにやってくる」というように、南海トラフなども忘れたらいけないし、防災対策もあらためて確認したいと思った。

・寺田寅彦さんが高知出身とは知らなかった。人との出会いによって進んでいく未来は違ってくる。自分の未来が、間違っているかもしれないと周りの人が言ったとしても自信をもって前に進んでほしいと思います。

ご家族の皆様へ

お忙しい中、たくさんのご感想ありがとうございました。
ご家庭で「高知の偉人」について話す機会になったようで良かったです。
今回の「寺田寅彦」は、名言は知っていたけど、言った人は知らないという感想が多かったので、これからもお子さんと一緒に「知る」機会を設けていきたいと考えています。
来学期もよろしくお願いします。